

第2章

前計画の成果検証

前計画の成果検証

1 基本指標の達成状況

〈指標の動向(進捗状況)〉「達成」「順調」「やや遅れ」「遅れ」の4項目で評価

「達成」……最終年度の目標値を達成した
(累計ベースの目標を設定していて実績が極めて好調な場合や、目標の最終年度が既に到来した場合など)

「順調」……直近の実績で目標値を達成した

「やや遅れ」……直近の実績で目標値は達成できなかったが、基準値からの改善はみられる

「遅れ」……直近の実績で目標値を達成できず、基準値の数値と比べても数値が悪くなっている(実績が基準値を下回っている又は直近年の目標値に対する実績値が70%未満)

〈進捗状況の%について〉

基本的に、実績値/目標値で算出

累計で評価する指標は、(実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値)により算出

〈達成の見込みの記号について〉

「○」:達成した又は達成の見込み

「△」:達成が厳しい見込み

基本指標8項目中5項目、関連指標15項目中12項目が達成の見込みです。

(上段:目標値、中段:実績値、下段:達成率)

指標名	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	達成 見込み
①海面漁業・ 養殖業産出額	1,014億円 (海面漁業H30年、 海面養殖業H29年)	970億円	999億円	1,024億円	1,036億円	1,060億円	順調	○
		936億円	1,109億円	1,238億円	未公表			
		96%	110%	120%	—			
②海面漁業生産量	29万トン (H30年)	26万4千トン	28万2千トン	29万1千トン	30万トン	31万5千トン	やや 遅れ	○
		24万7千トン	26万2千トン	29万3千トン	29万7千トン (速報値)			
		93%	92%	100%	99%			
③海面漁業産出額	636億円 (H30年)	586億円	611億円	632億円	640億円	660億円	順調	○
		571億円	653億円	709億円	未公表			
		97%	106%	—	—			
④1経営体あたりの 平均漁業所得額	2,394千円 (H26~H30年平均)	2,538千円	2,586千円	2,633千円	2,681千円	2,729千円	順調	○
		2,746千円	4,001千円	4,646千円	未算定			
		108%	154%	176%	—			
⑤海面養殖業産出額	378億円 (H29年)	384億円	388億円	392億円	396億円	400億円	順調	○
		365億円	456億円	529億円	未公表			
		95%	117%	134%	—			
⑥水産食品加工品 出荷額	361億円 (H29年)	368億円	375億円	382億円	388億円	400億円	遅れ	△
		316億円	367億円	330億円	未公表			
		85%	97%	86%	—			
⑦農山漁村集落数	2,927集落 (H27年)	2,927集落	2,927集落	2,927集落	2,927集落	2,927集落	—	—
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
⑧農山漁村地域への 移住者数 (うち漁業分)	—	57人	62人	62人	65人	65人	やや 遅れ	△
		69人	57人	57人	53人			
		121%	91%	91%	81%			

① 「海面漁業・養殖業産出額」は、令和5年に1,238億円となり2年連続で計画を上回りました。現状の水準で推移すれば目標を達成する見通しです。

② 「海面漁業生産量」は、令和6年の海面漁業生産量(速報値)は29万7千トンとほぼ目標通りであり、現状のペースを踏まえると、概ね目標水準に到達する見通しです。

③ 「海面漁業産出額」は、令和5年に709億円と、まき網の生産量の増加や魚価の上昇により計画を大きく上回りました。生産量が順調に推移すれば、目標値を達成する見通しです。

④ 「1経営体あたりの平均漁業所得額」は、計画期間を通して順調に推移しています。令和5年は主にまき網等の海面漁業や養殖業における生産量の増加並びに魚価の上昇等により平均所得が上昇しており、令和6年度以降も目標を達成する見通しです。

⑤ 「海面養殖業産出額」は、国内外からの需要回復が加速し、単価も向上したことから令和4年以降計画を上回って推移しており、現在の種苗の活け込み状況等を踏まえると、目標を達成する見通しです。

⑥ 「水産食品加工品出荷額」は、コロナ禍以降回復傾向にあるものの、主要加工品目における不安定な原料調達状況等により計画を下回って推移しており、目標達成は厳しい見通しです。

⑦ 「農山漁村集落数」は、2025年農林業センサスで実績を確認することとなっています。

⑧ 「農山漁村地域への移住者数(うち漁業分)」は、新規漁業就業者が増加する中、移住者数は伸び悩んでおり、目標達成はやや厳しい見通しです。

第1章 データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章 前計画の成果検証

第3章 本県水産業を
取り巻く情勢変化と
課題

第4章 計画の主旨

第5章 基本目標別の
取組方針

第6章 海区別の取組方針

第7章 試験研究の取組方針

第8章 私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像

2 基本目標ごとの達成状況

(1) 基本目標: 漁村地域の生産力を支える多様な人材の確保・育成

(上段:目標値、中段:実績値、下段:達成率)

事業群	指標名	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	達成 見込み
漁業の魅力や就業 情報の発信と受入 体制の強化	①新規漁業就業者数	183人 (H30年度)	190人	200人	200人	210人	210人	順調	○
			192人	203人	201人	221人			
			101%	101%	100%	105%			
外国人材の地域に おける活躍	②外国人材を受け入 れた市町数	8市町 (R1年度)	-	-	-	-	12市町	達成	○
			9市町	9市町	11市町	12市町			
			-	-	-	-			

① 「新規漁業就業者数」は、計画期間中を通じて目標を上回っており、目標を達成する見込みです。

② 「外国人材を受け入れた市町数」は、令和6年6月時点で12市町が外国人材を受け入れており、目標を達成しています。

(2) 基本目標: 環境変化に強く収益性の高い魅力ある漁業経営体の育成

(上段:目標値、中段:実績値、下段:達成率)

事業群	指標名	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	達成 見込み
漁業者の 経営力強化	①1経営体あたりの 平均漁業所得額	2,394千円 (H26~H30年平均)	2,538 千円	2,586 千円	2,633 千円	2,681 千円	2,729 千円	順調	○
			2,746 千円	4,001 千円	4,646 千円	未算定			
			108%	154%	176%	-			
②経営計画※策定者 のうち漁業所得が 向上した割合	63% (H30年度)	70%	70%	70%	70%	70%	遅れ	△	
		51%	51%	50%	未算定				
		72%	72%	71%	-				

① 「1経営体あたりの平均漁業所得額」は、計画期間を通して順調に推移しています。令和5年は主にまき網等の海面漁業や養殖業における生産量の増加並びに魚価の上昇等により平均所得が上昇しており、令和6年度以降も目標を達成する見通しです。[再掲]

② 「経営計画策定者のうち漁業所得が向上した割合」は、経営計画策定者の多くを占める小規模経営体の漁業所得の伸びが限定的で、目標に対し「遅れ」となっており、目標達成は厳しい見通しです。

(3) 基本目標:資源管理の推進による水産資源の持続的な利用と漁場づくり

(上段:目標値、中段:実績値、下段:達成率)

事業群	指標名	基準 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	達成 見込み
水産資源の維持・ 増大のための適切 な資源管理の推進 と漁場づくり	①漁場整備面積	622km ² (H26年度)	762km ²	777km ²	792km ²	807km ²	822km ²	達成	○
			786km ²	805km ²	825km ²	841km ²			
			103%	103%	104%	104%			
	②最適な放流手法と 適切な資源管理措 置を講じるモデル 魚種数(累計)	—	1魚種	2魚種	3魚種	4魚種	5魚種	順調	○
			1魚種	2魚種	3魚種	4魚種			
			100%	100%	100%	100%			

① 「漁場整備面積」については、藻場機能を有した増殖場や魚礁の整備など、沿岸から沖合まで水産資源を育む漁場づくりを推進した結果、目標を達成しました。

② 「最適な放流手法と適切な資源管理措置を講じるモデル魚種数」は、クルマエビ、ヒラメ、ガザミ、トラフグと、計画通りに順調に進捗しており、最終年度はクエに取り組んでおり、目標を達成する見通しです。

(4) 基本目標:養殖業の成長産業化

(上段:目標値、中段:実績値、下段:達成率)

事業群	指標名	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	達成 見込み
養殖業の 成長産業化	海面養殖業 産出額	378億円 (H29年)	384億円	388億円	392億円	396億円	400億円	順調	○
			365億円	456億円	529億円	未公表			
			95%	117%	134%	—			

「海面養殖業産出額」は、国内外からの需要回復が加速し、単価も向上したことから令和4年以降は計画を上回って推移しており、現在の種苗の活け込み状況等を踏まえると、目標を達成する見通しです。[再掲]

第1章
データで見る
本県水産業の
現状と
取り巻く環境

第2章
前計画の
成果検証

第3章
本県水産業を
取り巻く情勢
変化と
課題

第4章
計画の
主旨

第5章
基本目標別
の
取組方針

第6章
海
区別
の
取組
方針

第7章
試験
研究
の
取組
方針

第8章
私たち
若手
職員が
描いて
いく
長崎
県の
水産
業の
将来
像

(5) 基本目標：県産水産物の国内外での販売力強化

(上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)

事業群	指標名	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	達成 見込み
県産水産物の 国内販売力の 強化	①新たに取引を開始 した商品の取引額 (累計)	—	1.4億円	2.1億円	6億円	7.3億円	8.6億円	達成	○
			2.9億円	4.7億円	8.3億円	10.9億円			
			207%	223%	138%	149%			
県産水産物の 国外販売力の 強化	②水産物輸出額	27億円 (H30年)	40億円	42億円	46億円	48億円	50億円	順調	○
			42.2億円	71.5億円	64.1億円	70.5億円			
			105%	170%	139%	146%			
高度衛生管理 に対応した体 制の構築	③高度衛生型荷捌き 施設 [*] がある魚市 場数(累計)	0箇所 (H30年度)	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	達成	○
			1箇所	1箇所	1箇所	2箇所			
			100%	100%	50%	100%			

① 「新たに取引を開始した商品の取引額」は、量販店や生協等のパイヤーと連携した商品開発・販売等により計画を上回って推移しており、目標を達成しました。

② 「水産物輸出額」は、令和5年度に中国による日本産水産物の輸入停止の影響でやや減少しましたが、韓国・米国、東南アジア向けの輸出によって回復し、計画を上回るペースで、目標を達成する見通しです。

③ 「高度衛生型荷捌き施設がある魚市場数」は、松浦魚市場、長崎魚市場の荷捌き施設において高度衛生化が図られ、目標を達成しました。

(6) 基本目標: 多様な人材の活躍による漁村の賑わいや活力創出

(上段: 目標値、中段: 実績値、下段: 達成率)

事業群	指標名	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	達成 見込み
漁村に人を呼び込む仕組みづくり	①地域漁業の維持・再生に取り組む漁業地区数	80地区 (R2年度)	80地区	80地区	80地区	80地区	80地区	遅れ	△
			80地区	79地区	77地区	77地区			
			100%	98%	96%	96%			
漁村地域全体で稼ぐ仕組みづくり	②新たな漁業や海業*の起業及び事業拡大の件数	10件/年度 (R2年度)	10件	10件	10件	10件	10件	順調	○
			1件	16件	19件	11件			
			10%	160%	190%	110%			
異業種との連携による浜の活性化	③離島の漁村集落への入込客数*	2,900人 (H30年度)	3,350人	3,500人	3,650人	3,800人	3,950人	やや遅れ	△
			1,300人	3,518人	3,660人	3,412人			
			38%	100%	100%	90%			
	④異業種と連携して漁村地域の活性化に寄与した新たな取組の件数	3件 (H28-30年度平均)	3件	3件	3件	3件	3件	順調	○
			4件	4件	4件	3件			
			133%	133%	133%	100%			
生産・流通基盤の強化と漁村の賑わい創出に向けた浜の環境整備	⑤生産性の向上に資する基盤整備完了漁港数	0漁港 (R1年度)	0漁港	4漁港	8漁港	10漁港	15漁港	順調	○
			0漁港	4漁港	7漁港	10漁港			
			—	100%	87%	100%			

① 「地域漁業の維持・再生に取り組む漁業地区数」は、高齢化で活動を止めた漁業地区があり、目標の80地区の維持は達成が厳しい見通しです。

② 「新たな漁業や海業の起業及び事業拡大の件数」は、離島地域の漁村集落における取組が概ね順調に進んでおり、目標を達成する見通しです。

③ 「離島の漁村集落への入込客数」は、コロナ禍の後に回復してきた一方で、事業者の高齢化による体験学習の受入数の減少等により直近では目標値を下回っており、目標達成はやや厳しい見通しです。

④ 「異業種と連携して漁村地域の活性化に寄与した新たな取組の件数」は、観光事業者と連携した海業の促進の取組により、概ね計画を上回る進捗であり、目標を達成する見通しです。

⑤ 「生産性の向上に資する基盤整備完了漁港数」は、一部、資材単価や人件費の増により途中遅れが生じたものの、直近では計画通りの進捗となっており、目標を達成する見通しです。

第1章
データで見る
本県水産業の
現状と
取り巻く環境

第2章
前計画の
成果検証

第3章
課題
本県水産業を
取り巻く情勢
変化と

第4章
計画の
主旨

第5章
基本目標
別の
取組方針

第6章
海
区別の
取組方針

第7章
試験研究
の取組方針

第8章
私たち若手
職員が
描いていく
長崎県の
水産業の
将来像